



令和元年7月25日

第57号

さく

ほ

2019⑥

議会だより



佐久穂小学校3年 給食用食材確保

発行：佐久穂町議会

議長：高橋 康徳

編集：議会広報編集調査特別委員会

〒384-0697

長野県南佐久郡

佐久穂町大字高野町569

TEL.0267-86-2556

印刷：キクハラインク有限会社

いいね
押してね

さくほ議会
Facebookもチェック

さくほ議会 検索



議会構成が新しくなりました

議長・副議長あいさつ

常任委員会委員長あいさつ……P2~5

6月定例会

10月の国の政策にともなう補正予算…P6・7

一般質問

(仮称)道の駅構想は
骨髄ドナー登録の助成制度は他……P8~13

常任委員会委員長 就任あいさつ

令和元年5月より

議会の構成が

新しく

なりました！

佐久穂町議会は、4年の任期のうち 2年毎に議会構成を変更します。

佐久穂町議会 議長・副議長あいさつ



町民のための
議会運営を目指して
議長 高橋康徳

さる四月十九日の臨時議会でおこなわれた議会議長選挙で、議員各位のご支援を賜り、議長に選任されました。

感謝を申し上げますと共に、その重責を痛感し、身の引き締まる思いです。

議員皆様には公平公正な議会運営を目指していくとお約束しました。各議員それぞれが、様々な考え方、意見をお持ちであり、議員・議会活動を行っています。

それらが、良い形に活かされ、町民益につながる様な町政運営、議会運営をしていきたいと考えております。

さて昨年から今年にかけて町内では大きな動きがありました。

まずは中部横断道の開通、このことは佐久穂町ばかりでなく、周辺自治体にも大きな影響を与え、これから徐々にその効果が現れてくることと思います。

開通して終わりではなく、これからその効果をどう生かしていくか、それに対してどう議員あるいは議会として臨んでいくか、大きな課題として取り組んでいくべきと考えます。

議長 高橋康徳

町としても八千穂高原IC近くに「仮称道の駅」を計画中であり今年度その計画が策定される予定であります、これについても議会として注視していかなければならないと考えます。

また観光事業での動きとして八千穂高原スキー場の経営が民間に移譲され、駒出池キャンプ場も指定管理者に経営を任せることとなりました。どちらも佐久穂町の観光にとつて大きな比重を持つ施設でありますのでそのことが佐久穂町の観光行政にいい影響がもたらされるよう期待をしています。

さらには、大日向小学校が私立の小学校として開校しました、町外からの多くの児童、保護者が佐久穂町或いは周辺自治体に移住し、地元住民と交流活動が行われています、残る校舎跡地等の問題が進捗する事も含め期待をしたいと思っています。

さて役場庁舎が現在建設中です。順調にいけば来年度の途中から議会新しい議場で行われる事となりそうです、その議場にふさわしい議会・議員となるべく議会改革を推進し、町民の負託に応えられる議会を目指していきます。



暮らしを応援
地域を元気に
副議長 高見澤研二

四月の臨時議会におきまして、議員の皆様のご支持により、副議長に就任させていただきました事に

なりましたことは大変名誉なことと、感激しているところであります。また同時に、責任の重大さも痛感し、身の引き締まる思いであります。

もとより浅学非才な私が、副議長の要職を十分に果たすことができるのか、一抹の不安がないわけではありません。

しかし、議長にご就任になられました高橋議長は、識見豊富で卓越した方でいらつしやいます。非力な私が、議長の職務を補佐する必要はないものと安どしているところです。

一方で、副議長の仕事は地方自治法上、議長を補佐する職ではなく、代理をする職であることを念頭に置き、いついかなる時でも議長の代理が務まるよう、常に高橋議長のご指導とご助言をいただきながら、名譽ある席を汚さずに、議会が公正かつ円満に運営されますよう、誠心誠意努力をする所存でございます。

また、さらなる議会改革の推進と議会活性化のため、引き続き力を尽くしたいと思います。

佐久穂町は、新町誕生から十五年目となり、町村合併に伴う国の特例措置が終了となつていきます。これからが、本当の意味での「自律したまちづくり、ふるさと創りの正念場」と感じています。

理事者・執行側との協議も、安易な妥協は許されるものではありませんが、基本的なまちづくりの理念は同じわけですから、いたずらに摩擦を起こすことは避け、実りある議論になるよう心掛け、枝葉の部分での揚げ足取りや、感情的なつぶし合いとならぬよう、議員各位と共に力を合わせ、町政発展と住民の皆様様の福祉の向上のための前向きな議論となるよう微力を尽くす覚悟でございます。

最後に、私の任期中、皆様のご支援ご協力、並びにご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。



総務文教常任委員長
石井正行

委員会審議に 専門性と詳細さを

この度四月の臨時会におきまして、総務文教常任委員長に就任いたしました。

町議会は、新たな体制でスタートすることになります。人口減少問題・少子高齢化社会問題や教育問題など皆様のご指導を頂きながら、任期までの約二年間、真剣に取り組んでまいりたいと思います。

議案、その他の議決事項は、最終的には本会議で決定されますが、町の行政は幅広く複雑なため、本会議で一つ一つ詳しく審議することは能率的ではありません。

その為、佐久穂町議会は二つ（総務文教・経済福祉）の常任委員会を設け、それぞれの所管に関する議案を審査・協議などを詳しく行います。

本委員会は、住民生活に密接に関連した課題を所管しています。本委員会の果たすべき役割は極めて重大であり、委員長就任にあたり、改めてその責任の重さを痛感しています。

委員会所管事項に対し、微力ながら職責を全うする所存であります。

ここに委員会各位のご指導とご協力をいただき、公正かつ円滑な委員会運営に努めてまいりたいと思います。



経済福祉常任委員長
倉澤陽一

共に町の発展のために

四月の臨時議会におきまして、経済福祉常任委員長に就任いたしました倉澤陽一です。当委員会に付託される担当課は、建設課・産業振興課・健康福祉課・千曲病院・老人保健施設です。条例案、年間予算、補正予算などの審査をおこないます。

建設課では町道、橋、河川の維持管理に関する事業、町営住宅の運営に関する事などが主な事業です。産業振興課では、農業、林業の振興、商工、観光の振興予算などに関する事です。健康福祉課では、健康管理に関する事業、社会福祉などの民生費に関する事業等です。千曲病院、老人保健施設に関しては、年間予算の決算審査を行います。

委員会審査の中で、説明を受け、質問をし、また説明を受け、納得してから委員会の採決を行い承認します。また予算の執行状況の確認のため、委員会で現地の視察を行うこともあります。

執行側が真剣に検討し町発展に努めているのに対して、我々議会側も議案の内容を十分検討し、意見があれば意見を付して、佐久穂町発展に寄与していきたいと思

南佐久郡町村議会議長会より 小宮山雅則元議長に 感謝状が贈られました

この度は議長退任に際し、南佐久郡町村議長会より感謝状をいただき、光栄の至りでございます。

平成29年4月より2年間、佐久穂町議会議長の職を全うできましたのも、町民の皆様・各議員・佐々木町長をはじめとする執行機関の皆様のご支援・ご協力あつてのこととございます。誠にありがとうございます。

議長を退任いたしましたも、町議会議員であることにかわりありません。今後とも、町の発展と住民福祉の向上を願い、誠心誠意議員活動をしてまいりますので、なにごとご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

小宮山雅則



佐久穂町議会

議長 高橋 康徳

副議長 高見澤 研二

令和元年 議会構成図

その他の団体への参加

本会議

議案に対して質疑・討論
・採決をします。



全員協議会

議員が相互の意見を調整したり、行政側
から説明を聞いたりします。

常任委員会

議案をより専門的に審議するために常に設置
されている委員会です。

総務文教常任委員会

委員長 石井 正行
副委員長 井出 正臣
委員 西部 元和
須田 良子
倉澤 治貴
岡部 勝一
高橋 康徳

町の総務課・総合政策課・住民
税務課・こども課・生涯学習課・
議会事務局に関わる議案を本会議
からまかされて審議します。

経済福祉常任委員会

委員長 倉澤 陽一
副委員長 出浦 修身
委員 島崎 規子
高見澤 研二
佐々木正雄
小宮山雅則
高見澤春野

町の健康福祉課・産業振興課・
建設課・老人保健施設・千曲病院
に関わる議案を本会議からまかさ
れて審議します。

議会運営委員会

委員長 佐々木正雄
副委員長 高見澤春野

委員 石井 正行 倉澤 陽一
倉澤 治貴 岡部 勝一
高見澤研二

議会の進行をスムーズにするために設置されている委員会です。

監査委員

佐々木 正雄

町の財務や事業を確認する
委員です。2人の内1人は
議会から選出します。

特別委員会

町議会の中の特別なことがらを調査・研究するため
に設置される委員会です。

議会改革特別委員会

委員長 佐々木正雄
副委員長 高見澤春野
委員 全員

議会をよりよいものに変えていくため
調査・研究、話し合いをします。

広報編集特別委員会

委員長 西部 元和
副委員長 島崎 規子
委員 須田 良子 石井 正行
出浦 修身
小宮山雅則

「議会だより」の作成・編集をします

視察研修特別委員会

委員長 井出 正臣
副委員長 高見澤春野
委員 須田 良子 佐々木正雄

視察研修のあり方、方法について研究し、視察
研究を立案します。

新庁舎建設特別委員会

委員長 井出 正臣
副委員長 倉澤 治貴
委員 石井 正行 出浦 修身
佐々木正雄 岡部 勝一
高橋 康徳

新庁舎の建設に関する費用・工程などを確認します。

佐久広域連合 議会

高橋 康徳
高見澤研二

佐久市・小諸市・北佐
久郡・南佐久郡の広域
で行政サービスを行う
組織です。

佐久水道 企業団議会

倉澤 陽一
岡部 勝一

佐久市・東御市・御代
田町・佐久穂町の上水
道を管理する組織です。

佐久平環境 衛生組合議会

出浦 修身
井出 正臣

佐久市・佐久穂町のし
尿および浄化槽汚泥の
処理を行う組織です。

南佐久環境 衛生組合議会

島崎 規子
須田 良子
石井 正行

南佐久郡を中心に下水
道処理などを行う組織
です。

都市計画審議会

島崎規子

岡部勝一

交通安全対策協議会

高橋康徳

千曲病院経営審議会

須田良子

出浦修身

佐久穂町社会福祉協議会

出浦修身

倉澤陽一

佐久穂町青少年育成協議会

西部元和

高速道路対策協議会

島崎規子

高橋康徳

高見澤研二

道路整備促進期成同盟会

高橋康徳

高見澤研二

倉澤陽一

佐久穂町スポーツ協会

西部元和

一部事務組合
複数の地方公共団体が行政サービ
スの一部を行うために設置される組
織です。

令和時代幕開け議会 全案件を全員賛成で可決

六月定例議会 十八案件が上程される

六月六日に召集された令和最初の議会には、平成30年度の一般会計補正予算や、令和元年度の一般会計補正予算、町立千曲病院の平成30年度の決算認定など、承認案件5件、認定案件1件、議決案件10件、その他報告案件2件の、計18件が上程されました。

各案件は、町長からの提案説明の後、各担当課長から補足説明が行われ、その後、総務文教常任委員会、経済福祉常任委員会に付託されました。

委員会では慎重審議のうえ、最終日18日の議会で、全案件が原案どおり認定・承認・可決されました。この他、

●義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情書

●国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める陳情書

◇陳情者◇

佐久穂町教職員組合

執行委員長 黒沢 育子

【全員賛成で採択】

一般質問には9人が

11日、12日に行われた一般質問には、9人の議員が質問に立ち、4月5日発生の穂積筆岩地区の林野火災や「道の駅」の建設構想など、町の政策や課題について質問を行いました。

(詳細は8P、13P参照)

新しい時代への 動きが続々と

佐々木勝町長は議会冒頭で最近の町をめぐる動きを報告されました。

大日向小学校開校

4月10日に学校法人茂来学園大日向小学校の入学式があり、同27日には「開校を祝う会」が、旧東小の大日向小学校で学校関係者の他、地元の皆さんも参加して、賑やかに開催されたと報告されました。



開校を祝う会のようす

児童と家族の 約40名が移住

大日向小学校は今年度30名の募集予定に対し70名が入学しました。これに伴う町内移住者は17名で、その他に海瀬保育園に2名、栄保育園に1名の園児が、佐久穂中にも1名の生徒が入学し、家族を含めての移住者は40名近いとのことでした。

この内6家族7名が大日向地区に、他の6家族は町内各地区に移住されています。

新しく来た人たちと、従来からの人たちが、互いに尊重し合い助け合い、「新しき良きふるさと」を創って行ければと、期待を込めて報告されました。



駒出池キャンプ場のようす

観光シーズン幕開け

新しい時代を告げる町の観光シーズンが、4月14日の「第33回ツールドハケ岳自転車レース」で幕開けとなりました。

八千穂高原スキー場の運営と駒出池キャンプ場(指定管理)が、民間のアドバンス(株)に移り新たなキャンプ場として生まれ変わりました。「駒出池キャンプ場」は例年より一週間早いオープンと、新天皇の即位に伴うゴールデンウィークの10連休や天候にも恵まれ、昨年の1・4倍になる約4600人のキャンパーで賑わった旨の報告がありました。

新庁舎建設状況

役場新庁舎の建設は、7月初めには基礎工事が終了し、今後はオイルタンクの設置や倉庫、車庫の基礎工事に着手するとの報告がされました。

これまでの工事は順調に推移して来ましたが、「制震ダンパー偽装事件」の影響から、制震機材の納入遅れ来年3月予定の完工がズレる見込みと、後の全員協議会で、総務課から報告されました。

また、テナントとして入る八十二銀行は支店名が佐久町支店から佐久穂支店になるとの報告もありました。

チャレンジデー参加者 昨年より若干増

5月29日実施の「チャレンジデー2019」は、参加者4,856人、参加率43・5%と昨年より若干増えたが、北海道芦別市が、参加率46・9%と上回り惜敗した。この運動をきっかけに運動習慣の改善に繋がる事の期待を述べられました。

■決算の認定

平成30年度 千曲病院 決算

千曲病院の決算が報告されました。

経営状況は相変わらず厳しく、昨年4月に内科常勤医師の退職に伴い、内科は入院・外来とも患者が減少し、8月から常勤体制となった整形外科は患者増になりましたが全体では患者が減っており、平成30年度も6,335万円の赤字となりました。



■主な補正予算等の承認

平成30年度の3月末の出納閉鎖に伴い、一般会計及び国民健康保険、介護保険、索道事業の各特別会計の補正予算などの専決処分案件が、各委員会の審査を経て承認しました。承認された主な専決処分案件は次のとおりです。

・平成30年度一般会計補正予算、補正額 5817万円

補正後予算額 86億9298万円
主な増額補正要因は地方交付税の増加などです。

・平成30年度 国民健康保険特別会計 補正額 △2738万円
補正後予算額 12億501万円

主な減額要因は保険給付費の減少
・平成30年度索道事業特別会計補正予算

町営としての最終シーズンの営業を行った「八千穂高原スキー場」は、シーズン終盤にかけ入場者が増えた事による増収と施設管理費の減少による補正ですが、補正総額はこの事から予算額で1330万円の減額となるものでした。

・佐久穂町の税条例の一部改正
地方税法の改正を受け、都道府県等に対する寄付金にかかる軽自動車税の特例措置等の見直しです。

■可決した主な議案

・令和元年度一般会計補正予算 補正額 2億1407万円
補正後予算額 91億7707万円
歳入では、合併特例債の発行増と佐久水道企業団からの舗装本復旧負担金(雑入)が増加し、これ等の増加に伴う基金取り崩し歳入の減額です。

また、歳出では佐久水関連の道路維持改良費の増加と、消費税増税に対する激変措置としての交付金の増額が主

な増加要因となっています。

この他、令和元年度の国民健康保険、介護保険、老人保健施設の各特別会計の補正予算が可決されました。

・財産処分について

平成28年7月に営業を停止した白石荘の処分につき、町では本年3月に「利活用提案型売払い」の募集を行っていましたが、今般、売却先が決定した事により、財産処分として議会に議決を求めるものです。

処分方法は、土地は町の購入価格で譲渡、建物については無償譲渡との説明があり、譲渡先は4月に開校した大日向小学校を運営する学校法人茂来学園です。



旧白石荘のようす

消防団のポンプ操法の 見直しは

井出 正臣



町長 団員やその家族に過度な負担を強いぬよう配慮せねばなりません。

消防団

問 当町における必要消防団員数は。

総務課長 団員の定数は440人となっています。合併時は550人で段階的に350人規模にしていくという計画があり、平成18年に460人、19年に440人に改正されました。5年計画で21年度には350人体制

としたいと議事録に残っていますが、以後条例改正案は提出されていません。

問 ポンプ操法大会の見直しを検討した経緯が過去にあるか。

総務課長 ポンプ操法大会の練習の負担軽減を図るため、今年度から各分団各自で練習するように変更し、夜間から早朝に変更した分団もあります。



消防団のポンプ操法の様子

問 ポンプ操法とは競技なのでしょっか、実務上必要な経験なのでしょっか。

総務課長 大会に出場する目的ではなく、技術の習得が一番の趣旨と考えています。

道の駅整備

問 誰のための道の駅整備なのか。

町長 可能であれば南佐久のた

めです。

問 道の駅整備・運営も多額の財政負担が想定される。負担の大きかったスキー場の民間譲渡との関係性は。

町長 スキー場譲渡は財政上の問題も大きいですが、行政サービスとして町がやるべきでないというのが一番の理由です。整備に関しては、大きな予算で人真似、他市町村の真似をしてもお金と時間を失うだけです。そう考えています。

景観行政団体

問 昨年6月を目指すと言った景観行政団体への進捗状況は。

町長 具体的に進んでおりません。

問 信州大学経済学部との包括

連携協定によるフューチャーデザイン（FD）を活用してはどうか。

総合政策課長 大学からも大きな視点に沿う形で考えるべきと助言を受けており、FDの手法を用いることは可能と考えています。

終わってひと言

消防団改革

は全国の課題でもあります。団員を中心に、その家族や会社も巻き込んで、「地域になくならない消防団」の形を模索して頂きたいと思っています。道の駅整備の手法には不安を感じています。多額の財政負担が想定され、スキー場民間譲渡や臼石荘閉鎖の延長線上にこの計画がないか、注意深く監視していきます。ヘルシージェラス佐久南の現状などお近くでぜひ御確認下さい。

高齢者世帯の推移は

石井 正行



町長 今が正念場と考えております。

高齢者支援について

問 高齢者世帯の推移について見解を

町長 当町では、コミュニティ創生戦略において人口がある程度減ることを想定した中で、地域が継続していくための施策「まち・ひと・しごと創生」を展開し、若者定住就労支援、空き家対策、子育て支援も充実させてきており、どこかで高齢者のみの世帯の割合が止まるのは今が正念場と考えております。

問 認知症の方を支えられているか

健康福祉課長 昨年度から設置しました「認知症初期集中支援チーム」や「認知症地域支援推進員」の活動を活性化したいというふうに考えております。

意見 認知症という病気についての正しい知識を理解し、認知症患者の増加が社会に与える影響などを考え、地域社会全体で向き合い、支える対策が喫緊の課題と考えます。

問 徘徊行動の対策は

健康福祉課長 徘徊高齢者位置情報検索サービス、徘徊高齢者の事前登録制度がございます。

問 登録された方の靴のかかとにステッカーを貼りつける対策は

健康福祉課長 高齢者の尊厳や人権等を考慮した中で、なかなか実施は難しいなというふうに判断した経過がございます。
要望 徘徊行動の高齢者を検索するのに



佐久穂小学校5年生対象認知症サポーター養成講座の様子

は、放送やメールで身体特徴をお知らせするだけでは、個人を特定するのは難しいと思われる。認知症高齢者の方が見つけやすく発見しやすい方法など、先進地の事例、またアイデアなどを考え、ぜひとも適切な対応を。

問 安全サポート車の購入時の補助を

町長 どのくらいの高齢者が車を購入するか見えない部分がございます。交通事故削減と事業効果の観点での検討が必要と考えています。国の動向や全国の市町村における導入の動きも踏まえ、検討してまいりたいと考えております。

要望 お年寄りにとって車の運転ができるということは、これはまさに自立の象徴なんです。ですから、周辺者のものが「危ないからやめろ」と安易に言い放って運転免許証の返納を進めることは、非常に自己の尊厳を傷つけるという問題があると思います。そこで、安全・安心して暮らせるまちづくりに、安全運転サポート車購入の補助・推奨をお願いするものです。

公共施設の有効利用を

問 公共施設個別施設設計画策定を、優先順位をつけてスピードアップが必要では

町長 国の求めより1年早く進んでいきますので工程を早める予定はありません。

問 旧中央小学校の空きスペースの利用で3つ提案あり

1 学校に登校できない子どもさんのための中間教室設置

子ども課長 本年5月から試行的に中間教室的な活用を学童クラブエリアで開設しています。

問 子どもさんによっては小じんまりと静かな所を望むのでは

子ども課長 試行的な段階ですので次のステップはまだ考えていません。

2 福祉と教育が連携して取り組む学習支援事業をすすめるスペース

子ども課長 学校内では多くの人的支援によりきめ細かな佐久穂教育を実践しています。小・中学校での授業によって児童・生徒の学力を育んでいきたいと考えています。

3 旧町村で集めた農機具・民具の展示スペースは

生涯学習課長 集約し調べた上で公開する方向に進めたいと思っています。なるべく早く進めたいと思います。

問 旧四ッ谷公民館を取り壊わして第2陽だまりの家を建設し地域に開かれたエリアを広げては



旧四ッ谷公民館と陽だまり

問 畑ケ中下村の教員住宅を取り壊して障がい者の方の終いの棲家、グループホーム建設をしてはどうか。親なき後の生活の場が不足している。早急に対策を立てるべきでは。

町長 必要性は認識しています。重度障がい者向けの施設は手厚い介護支援と後の施設移行ができるよう、入所施設を経営している事業所にサテライト的に当町に進出していただけないかと考えています。働き方改革がある中、障がい者にたすきわる専門職が増えないという問題を含めて、真剣に考えていかなければいけないと思います。

福祉・医療施策の

見通しは

高見澤 研二



町長 課題はありますが、制度は維持できると考えます。

問 医療・介護の制度は施設中心から地位や在宅へと変わってきています。それぞれの現場での問題を、どのように認識されているのか、また今後の見通しは。

町長 最近の課題、問題が3点あります。1、通所サービスの利用者の減少、2、専門職の人材不足、人材確保、3、地域包

括ケアシステムの構築が、地域で機能するのか、という心配です。

現在、生活支援コーディネーターを、社会福祉協議会に委託して事業展開を図っています。

今後、高齢者人口が大きく増加しない見込みから、町の介護保険事業は維持できると考えます。

在宅サービスについては、在

宅医療、在宅介護の連携の状態について高齢者が疾病を抱えても、連携をとる体制は、ほぼできている状態です。



海瀬新田



宿岩

問 国民健康保険が、昨年から、県単位化されました。これに伴う佐久穂町の現状と、今後の方向性はどのようになっているのでしょうか

町長 目指すところは、町民である被保険者の健康が一番で、その結果として医療費も抑制でき、会計も安定します。

これまでの会計状況は、予算外の高額な医療費がかかる、一般会計からの借り入れにより調整をしてきました。県域化になり、たとえ大きな病気があっても、県全体で担うため、当町ではこういった負担感が軽減されたと考えています。近い将来、県全体で一本化されるに当たり、今後はその動向を注視し、対応を適宜していきます。

問 福祉施策の現場の、生の実態を把握できるモニタリングの仕組みを確立し、その上で制度の改善を図っていくべきではないか。

町長 福祉施策の大前提は、国が広く調査した平均的数値を使うことが現実的と考えますが、法律の規定にあり、町が単独で実施している福祉事業は、福祉施策の実態を直接モニタリングして、制度を変えていくべきと考えております。

議案資料の要望

問 提出された町条例の一部改正は、条文の新旧対照とは別に、解かり易い資料、一覧表を示してほしいが。

町長 可能な範囲で対応します。

須田 良子



町長 災害対策本部に社会福祉協議会も参集し、情報の収集と被災者対応をしていくことを確認しました。

災害時の炊き出しの対応は

町の防災対策について

問 筆岩地区の家屋、林野火災の教訓は。

町長 水利確保の大切さ、林野火災においては、延焼規模の分単位の把握が大切であることを実感いたしました。また、当町には、送電線の影響もあり、大きな自衛隊ヘリの離着陸できる場所が少ないこと、ヘリポートやヘリコプターによる取水については、近隣町村との連携が重要であることを認識しました。災害対策本部に社会福祉協議会も参集し、情報の収集と被災者対応をすることの確認をしました。

問 93名の消防団員が現地に行っていたが、その食糧調達を町はどう考えているか。

総務課長 地域で行っていただく炊き出しは、被災された方に対して行い、消防団、自衛隊は自らの飲食については自ら用意します。今回の筆岩地区の火災での炊き出しについては、本当に地区の皆さんの善意に感謝いたします。これは小さな集落だからこそ、まとまりのある集落だからこそ、集落挙げての消火活動への支援、炊き出しをしていただいたと思っております。

環境美化、樹木、庭の手入れ対策

問 公共施設、駐車場、花壇の手入れに職員が取り組めないか。

町長 職場環境をよいものに、働きや



千曲川堤防にある町道のようなす

人口減少などに危機感を 持つて対応して来たか

出浦 修身



総合政策課長 出来るだけ迅速に対処しました。

問 最初の質問は4月5日に発生した穂積筆岩地区の林野火災件で、被災地の森林再生をどの様に進めますか。

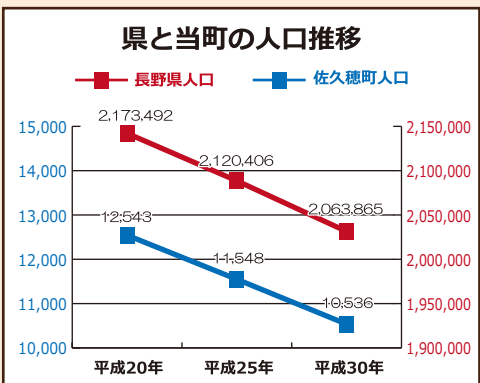
町長 佐久地域振興局林務課や長野県林業総合センターなどとも協議し、検討を進めているが、現時点で対応策は未決定だが、復旧に向け対応を進めます。

問 この3年で61ヘクタールの山林が皆伐され、その内77%が切放しのままの天然更新となっています。50年後に健全な森林を引き継ぐ持続可能な林業を維持する上で問題は有りませんか

産業振興課長 私有林の皆伐では、伐採届に基づき、町が確認しながら所有者に管理を義務づけています。天然更新に依る森林整備も選択肢の一つです。

問 私有林も奥地では人工林への更新率が10%程度まで低下する事が心配されますが

産業振興課長 所有者の皆さんに協力頂き、団地化・集団化により再造林施業費用の低コスト化を図り、植栽・再造林を進めたい。



意見 空き家対策など移住促進政策での努力は認めますが、状況改善は十分とは言えません。集合住宅の建設誘致策や補助金策の強化など、これまで以上にいま一歩踏み出した大胆な政策推進を図る必要があると思います。

い通りには推移していません。子育て教育コミュニティでは、人口増加に資する可能性も生まれつつ有り、次の戦略に繋げて行きたいと考えています。

問 2016年から2019年の3年間で653名の人口が減少し（減少率5.78%）と近隣の佐久市や小海町に比べ大きく減少しています。こうした状況に危機感を持つて対応しましたか

総合政策課長 当然、危機感はある、平成29年に空き家対策事業を起こし、30年には新築補助金や土地購入補助金など、今までに比べ出来るだけ迅速な政策強化で対応をして来ました。

鹿などの侵入防止策は

島崎 規子



町長 限られた財源の中で、
どういう方法があるのか、
改めて検討させてください

「鹿等による農作物 被害対策について」

なもので、どの自治体でも有効な解決策がなく、対応に苦慮しているところ です。

問 八郡・千代里地区に設置の進んでいる鹿柵ですが、その柵内に侵入する鹿が増えている現状を解消する為の、既存の事業ブツとといった部分で町の考えは。

町長 農林業への被害は全国的

産業振興課長 近年の農業被害面積や鹿の捕獲頭数の実績をみますと、鹿侵入防止柵と有害鳥獣駆除による効果は表れていると思われ ます。柵内への侵入は主に公道の開口部や破損箇所・柵の未設置部分からのものが考えられます。けもの道部分に

「わな」を仕掛ける等しいてた
だいておりますが、著しい効果
が上がっていないのが実情です。

問 未設置部分への柵の設置と
農業生産活動への影響を大きく
及ぼしている公道へのゲート設
置はできないか。

産業振興課長 柵の設置地は、
私有地という関係がございます
ので、皆さんのご同意を得てか



シカ対策の効果が薄れてきているゼブラゾーン

らということになります。

建設課長 圃場整備時の道路で、
農道であれば管理者がその状況
を踏まえての通行制限等も可能
ですが、現在は町道（八郡121号
線）として認定されており、ゲ
ート等の設置は不可能というこ
とでご理解ください。

「猿の人的・農作物被害 防止について」

問 大日向や海瀬・穂積地区な
ど猿の目撃情報が多く、実際に
農作物への被害もあるようだが、
町としての対処は

産業振興課長 近隣には佐久穂
小・中学校や大日向小学校があ
ります。また、これから収穫期
を迎える果樹園などが多いため、
追い払いだけでなく、県の鳥獣
管理計画に基づく捕獲管理、捕
殺の検討も考えたいと思います。

「民有林の主伐と その更新について」

問 カラマツ林における私有林
の主伐後の再造林が進まないが、
佐久穂町の林業を持続発展させ
るための、制度等の環境整備の
考えは

町長 再造林における保育保障
制度を創設し、取り組んでいる
ところに、近隣では南佐久中部
森林組合があります。この制度
は、造林意欲を高める反面、十
年間の長期間ですので、事業費
・材価・国庫補助金等の課題も
あります。集約化による低コスト
化に向けた方法等を含め、慎重
に検討して参ります。

この他、4月の林野火災にお
いて焼失したアカマツ林再生の
展望と、農業用廃プラスチック
処理について質問をしました。

（仮称）道の駅構想は

佐々木 正雄



総合政策課長 調整池築造工事を
含め防じん対策工事を早急に実施
します

問 町長は、選挙公約で「人づくり・まちづくり・ふるさとづくり」を三本柱として各種施策を掲げられ、小・中学校給食費保護者負担の軽減、町立保育所・学童クラブの存続、八千穂高原スキー場・駒出池キャンプ場の民営化、道の駅構想等々着実に実行されてきています。そこで、道の駅構想の進捗状況ですが、現在の進捗状況は。

町長 国土交通省による高速道路建設発生土の搬入・整地はほぼ完了しております。現在、現地は周辺が高く、内側は低くなっておりますが、将来、路盤工・表層工の工事を見込んだ高さとなっております。

問 道の駅用地造成工事で周辺の住民から苦情は寄せられていないのか。太石川を吹き抜ける強風により砂ぼこりが起き、洗濯物を干したら砂じんによる汚れで一日に何回も洗濯していたと聞いたが、町は把握していたのか。

総合政策課長 周辺住民の皆様から直接、担当課には苦情は特に入っておりませんが、対応が遅れてしまいお詫び申し上げます。今議会で大規模開発による調整池築造工事と防じん対策工事を補正計上しております。

問 早急に対策工事の施工を願います。昨年4月に高速道路が開通して八千穂高原インターチェンジから国道299号・141号の清水町交差点までの沿線住民の皆さんは交通渋滞、大型車の騒音・振



道の駅建設予定地の砂ぼこりのようす

要望 早急に県へ相談していただき、対策ができるよう形で表してください。

動、長距離トラックドライバーの迷惑行為などに悩ましていると聞け、国道管理者の県と協議しなければ解決できないと思うが、町の対応はどのように考えるのか。

町長 沿線住民の皆様には申し訳ないと思います。この先、全線開通に向けて更なる努力を続けてまいります。

問 道の駅が開設するまでの間、国道299号沿線の待避所へ仮設トイレを設置したかどうか。

町長 道路管理者の県と周辺住民の皆様を交え、慎重に検討したいと思ひます。

骨髄ドナー登録の

助成制度は

岡部 勝一



町長 登録制度の広報に努めます

問 骨髄バンクへのドナー登録の、現状はどうなっているか？

町長 長野県の登録率は、全国最下位です。町は、「佐久保健所や移動献血会場等で登録できる」と、広報に努めます。

問 骨髄ドナーは、白血球などの適合率が低いのが現状です。そのため、ドナー登録者の増員が必要になります。当町の血液がんの罹患者はいまですか？

健康福祉課長 平成29年度はいままでしたが、平成30年度、3件あります。

問 3名の罹患者へ骨髄移植するとして、最低12名、最高で考えると3万人のドナーが必要です。どの様に対応しているのか？

健康福祉課長 ドナー登録への取り組みは、厚生労働省の財団・骨髄バンクを中心に、県の啓発活動に協力しています。又、登録パンフの配布、ポスターの掲示をしています。

問 ドナー登録への支援対策もきちんとしていただきたいと考えるが、どうか

健康福祉課長 役場職員が登録等する場合、特別休暇が取得できます。

問 県では休暇等による費用の半額を助成する制度があるが、町の対応は？

健康福祉課長 県の助成制度も始まったばかりですので、他市町村の導入等も参考にし、検討したいと思ひます。

問 ドナーが増えることにより、よりスピーディーに、移植手術ができる。これは、国保税の軽減にも繋がるのでは？早い時期の助成制度の導入を望みます。

「ちいさな生命」の健全育成

問 不妊症、不育症などにより出生した、低体重児用の「母子健康手帳」も必要と考えるが、町の取り組みはどうか？

健康福祉課長 乳児の身体発育曲線のグラフは、体重1kgから、身長40cmから始まっています。低体重児用のものを、作成中です。

問 授乳ができた、など行動記録については、どの様に対処しているのか？

健康福祉課長 国からの推奨されているものを使用しています。

問 父親の子育てへの積極参加のためにも「父子健康手帳」、祖父母にもわかる現代の子育ての「祖父母健康手帳」なども、必要な時代ではないか？

健康福祉課長 法律で「妊産婦及び乳児及び幼児の健康保持及び増進」のため交付しています。今は考えていません。

問 NPO法人が「リトルベビーハンドブック」を発行しているが、活用は？

健康福祉課長 費用対効果等も含め、検討させていただきます。



なごや市の
リトルベビーハンドブック

■ 経済福祉 常任委員会

経済福祉常任委員会には、認定案1件、承認案3件、議決議案5件が付託されました。議案の審議は6月13日の午前・午後に亘り行われました。担当各課からの説明を受け質疑を行い、全案件につき全員賛成で、認定・承認・可決する事となりました。

厳しい千曲病院の経営状況

平成30年度の町立千曲病院の決算結果の認定が上程されました。地域医療を担う病院経営は厳しく今年も、6335万9千円の赤字決算を余儀なくされています。

【主な質疑】

問 入院患者が前年度比若干減っているが、その原因は？

答 永年勤めて頂いた内科医師の退職により内科の入院が大きく減った事が主因です

問 入院患者のリハビリ体制は十分実施出来ていますか？

答 現在、理学療法士3名、作業療法士3名の充実した体制で、入院患者のリハビリをカバーしています。

問 入院患者やドック受診者に医療サービスに対するアンケートを実施し、サービス向上に繋げることは？

答 これまで「患者の声」の用紙は配置していますが、「アンケート」は実施していません。今後検討しサービス改善につなげたいと思います。

最終シーズンのスキー場経営は？

町直営の最終のシーズンを迎えた 八千穂高原スキー場は、1月時点では大幅赤字予想でした。

その後客足が回復し収支は一部改善したが、今期も4964万円の赤字決算の見込となりました。



八千穂高原スキー場センターハウス

【主な収支状況】

営業収益合計	6077万円
営業費用合計	1億1041万円
営業収益（△：損失）	△4964万円

産業振興課との質疑では、

問 民営化以降のスキー場への町の関与は？

答 直接的な営業等はしないが、冬の観光施設であり、観光協会での宣伝を含め、府中市や市民の利用料等についても協議して行きます。

問 学校での利用については？

答 スキー教室は例年通り計画し、日程等についても協議をして行きます。

本年度一般会計の大型補正の要因は

一般会計 当初予算 89億6300万円

6月議会の補正額 2億1407万円

補正後の一般会計予算 91億7707万円

大型補正が生じた主な要因

- 4000万円のプレミアム付き商品券発行事業を核とした消費税引き上げ対策
- 今年度事業費9617万円の佐久水道企業団から受託した町内各地の舗装復旧事業



白矢線舗装改良工事

建設課の質疑としては、

問 大石地区での県の道路改良工事の箇所は？

答 大石 ― 夢の森間の大石区から上がって中間地点の改良です。

問 工事はいつからですか？

答 今年度に測量し工事は来年度の見込です

健康福祉課での質疑では、

問 プレミアム付き商品券の対象者は？

答 住民税非課税者（世帯）と2016年4月2日～2019年9月30日までに生まれた子どもを持つ世帯の世帯主が対象で、当町では1600人が該当者となります

問 購入方法は？

答 町に交付申請し、購入場所の郵便局で2万円で2万5千円の商品券を購入する事になります。尚、利用は町内に限られます。

委員会活動から ～委員会審査～

■ 総務文教 常任委員会

承認3件、議案5件が付託され、慎重審議の結果、全付託案件を原案どおり承認可決されました。

平成30年度一般会計補正予算

補正額5817万7千円を増額し、予算総額86億9298万5千円とするものです。

主な増は、歳入で特別交付税7021万6千円、歳出で減債基金積立1億4500万円です。

令和元年度一般会計補正予算

補正額2億1407万9千円を増額し、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ91億7707万9千円とするものです。

【地方債補正】

問 合併特例債は今年度起債見込み額1億4080万円で最後か

答 今回は、新庁舎建設関係の借り入れになりますが、合併特例債借入限度額57億6860万円は終わりです。



新庁舎建設7月5日の状況

【歳出】

問 財産管理費3291万7千円は

答 仮称「道の駅」の調整池と防塵対策費です。

問 防塵対策とは

答 防塵ネット又は碎石敷きによる防塵対策です。（現在は碎石による防塵対策を思案中）

問 調整池について

答 33m×11m×深さ2.0m貯水量約370トン 構造（法面：コンクリートブロック、基盤：浸透の為に土構造）

転落防止柵を設置し安全対策に努めます。

問 防塵対策碎石敷均しの場合は

答 碎石敷均し面積は1200㎡×厚さ10cm、ブルドーザー及び降雨締めを予定しています。

問 今の形状（地盤高）で決まりか、変更はないか

答 現時点では変更の要素は考えられません。

問 非常備消防等一般経費ジェットシューター（背負い式水のう）購入費44万6千円は

答 今回は消防本部に15基購入します。



ジェットシューター

問 現在、各分団配備状況は

答 総数68基（本部15基、各分団3～16基）本部は今回15基購入すれば30基になります。

問 中学校体育館演台補修について、化粧材を張るがステージから降ろす場合重くないか

答 それほどではないと思います。

条例改正

・佐久穂町防災会議条例（防災会議の委員に陸上自衛隊の自衛官を加えることにより、災害時に自衛隊と迅速かつ的確に連携することができるようにするため）

問 現役での階級等規定は

答 町の依頼に、それに対応した現役の自衛官が任命されます。

問 自衛官の位置づけは

答 防災会議に最初から加わっていただきます。（筆岩火災時は別に行った教訓より）

提案 大災害時に消防官・警察官・自衛官のOBの方の知見を伺えるシステム作りを

平成30年度国民健康保険特別会計補正予算

補正額2738万6千円を減額し、歳入歳出それぞれ12億501万2千円とするものです。

令和元年度国民健康保険特別会計補正予算

補正額112万5千円を増額し、予算総額12億342万2千円とするものです。

財産の処分について

- 処分する財産（臼石荘跡地）
- 土地（有償譲渡） 16,022㎡
- 建物等延床面積（無償譲渡） 1,570.29㎡
- 土地予定価格（岩石園含む） 10,702,696円
- 相手方 学校法人茂来学園 中正雄一



農業は体さえ動けば 一生できる仕事！

川上プルーランド 園主
川上 純 さん



12年前に大手建設会社を辞して、一町歩のプルー農家に転身。忙しい農作業の合間に学校応援団や、さくほジーバ共和国などで活躍されている「川上プルーランド」園主、川上純さんにお話を伺いました。

■なぜ佐久穂町だったんですか

脱サラをして農業をやろうと決めて、本やネットで調べていた時、県の新規就農相談会を知り参加したことがきっかけです。長野県はプルーの生産量日本一ということで、全く知らなかったプルーの生産に魅力を感じ、「面白そうだ。やってみよう！」ということから始めたプルー栽培ですが、今では一番の趣味となっています。

■プルー栽培の魅力と苦労は

魅力としては、農作業は僕の場合（収穫以外）ひとりでも何とかなるし、楽しいです。苦労な面は果樹は収穫までに時間がかかるので5年後10年後のことを考えて品種を選んでいかないとけない、収穫も時間との戦いで、苦痛となります。収穫は横浜に住む妻が手伝いに来てくれますが、収穫が終わった時には「ああ…今年も終わった！何とかなった！」のこの瞬間が一番の喜びですね。

■ジーバ共和国や学校応援団ではいろいろな場面で協力をされているところですが、かわり

のきつかけを教えてください。私がここに来て、周りの皆さんに何とか一人前にしていただ

きました。里親農家の高見澤良平さんや、特にジーバ共和国前大統領の小須田武弥さんとか圃場が隣だから毎日のように何かと教えていただいて、やっとここまで来たんで「やっぱり地域にも周りの人たちにも、何か恩返しをしたいな」ということです。ジーバ共和国の目的が、都会の人たちに佐久穂に興味を持っていただいて「交流人口を増やそう」という会ならば、私も移住経験者のひとりとして、「何か力になれるかな。」

学校応援団も同じで、昔登山をやっていた、「登山くらいなら何とかお手伝いできるかな」ということで、登山のサポートでかかっています。大日向小学校のプルー園のお世話も、武弥さんから頂いた恩を武弥さんの圃場を、縁あって栽培することになった大日向小学校の皆さんにお返しをしようと思いかかっています。

■これからの果樹農家の展望として思うことはありますか

果樹農家全体を考えたとき、若い果樹農家を呼び込むには、収穫までに5年かかるわけで、来てから苗を植えて大きくなるのを待っていたら食い繋いでいけないじゃないですか。やっぱり

ある程度苗があるところに呼び込んで、研修している間にそれが大きくなって、就農するとき、その圃場を管理してもらう。というように準備できたら一番いいよね。それを実施している自治体もあったはずですが、個人としては、自分ももう70歳になるし、後継者を育てて5年後には徐々に引き継ぎをして行けるようにしたいし、就農をした時に収入が全く無いということの無いような引継ぎができればいいと思っています。

■最後に行政や議会に望むことは

やっぱり佐久穂町は観光と農業だと思っんです。観光関係の立案は専門のコンサルタントに任せたい方がいい。素人が考えても失敗の繰り返しで発展は見込めない。

(聞き手 島崎規子)



◆編集後記◆

新たな議会構成を経て、広報編集調査特別委員会の委員長になりました西部元和です。

佐久穂町議会を皆さんに知ってもらう活動をしていくことが、私個人、一議員としても公約であるとともに使命であると考えています。そういった意味でもこの役職につけることを素直に嬉しく思います。

町民の皆さんに見やすくわかりやすい議会だよりをお届けすべく、広報編集調査特別委員全員で精進してまいりますので、なにとぞ一読のほど、よろしくお願いいたします。

広報編集調査特別委員長

西部 元和

